

日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム 2017 年度自然系展示室企画展の記録

(1) 基本情報

【企画展名】

2017 年度自然系展示室企画展「3 つの環境と外来生物」

【会期】

2017(平成 29)年 7 月 9 日から 2018(平成 30)年 4 月 23 日

【会場】

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 自然系展示室

【主催】

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム

【企画立案・展示制作】

石井奈穂美(学芸員)

(2) 展示構成

展示室内を 3 つのゾーン(里山の環境・水辺の環境・里地の環境)に分け、それぞれの環境をジオラマで再現した。各ジオラマ内には、環境の説明をまとめたパネルと、その環境に生息する野生動物の剥製を展示した。また各ゾーンには、その環境に生息する在来生物と外来生物を紹介するパネルを設置した。

【里山の環境ゾーン】

燃料として利用する薪や炭、あるいは堆肥として利用する落ち葉を生産するために管理されて形成された森林を里山と呼ぶ。このゾーンでは、里山に生息する在来生物の剥製を展示し、様々な生物が生息・生育する空間として、日本の生態系を育んできた里山の環境を再現した。

【水辺の環境ゾーン】

生物が生きていくために、水は必要不可欠な要素である。このゾーンでは、川から池にかけての流れを再現したジオラマを設置し、水辺の環境に生息する在来・外来生物の剥製と写真を展示した。

【里地の環境ゾーン】

里山と都市の中間に位置し、集落や農地、ため池、草原などで構成される環境を里地と呼ぶ。里地では、里山と一体的に農林業などに伴う様々な人間の働きかけが行われ、独特な環境が形成・維持されてきた。このゾーンでは、納屋と畑を再現したジオラマを中心に設置し、ジオラマ内には里地に生息する在来・外来生物の剥製を展示した。納屋には、アライグマの爪痕と足跡を付け、家屋侵入の様子を再現した。畑には、野生動物により食害を受けたスイカ・トウモロコシ・サツマイモの模型を設置し、農作物被害の様子を再現した。なお、ワークショップ開催の都合上、2017(平成 29)年 10 月 5 日から剥製の配置を一部変更した。



里山の環境ゾーン



水辺の環境ゾーン



里地の環境ゾーン

(3) 関連イベント

【企画展関連ワークショップ：そっくり？ ちがう？ タヌキ アライグマ ハクビシン】

・主な実施日

2017(平成 29)年 10 月 15 日：みたか太陽系ウォークに合わせた開館(73 名が参加)

2017(平成 29)年 11 月 3 日から 5 日：大学祭に合わせた開館(198 名が参加)

※その他個別対応あり

・会場

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 自然系展示室

・主催

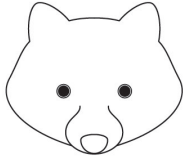
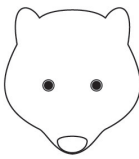
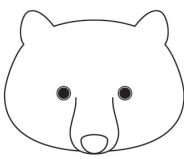
日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム

・企画立案・資料制作

石井奈穂美(学芸員)

・内容

参加者が能動的に剥製を観察することを第 1 の目的とし、参加者には展示室内里山の環境ゾーンに設置した剥製に関するクイズとぬりえに挑戦してもらった。観察の対象はタヌキ・アライグマ・ハクビシンの剥製とした。この 3 種は、一般的に混同されることが多いものの、見た目や種、外来生物としての扱いが異なっている。3 種の見た目の違いを知ることが、ワークショップの第 2 の目標とし、クイズとぬりえが完成した参加者に対しては、クイズの答え合わせと 3 種の外見上の特徴の解説を行った。また、3 種の動物としての違いおよび外来生物としての違いを知ることが、ワークショップ第 3 の目標とし、参加者には 3 種についての情報をまとめた解説用紙を配布した。

アライグマ	ハクビシン	タヌキ
①目のまわりは何色？ [黒 ・ 白]色	①顔のまんなかになに… [黒 ・ 白]色の線がある	①目のまわりは何色？ [茶 ・ 白]色
②鼻は何色？ [黒 ・ ピンク]色	②鼻は何色？ [黒 ・ ピンク]色	②鼻は何色？ [黒 ・ ピンク]色
③しっぽにしまようが… [ある ・ ない]	③しっぽにしまようが… [ある ・ ない]	③しっぽにしまようが… [ある ・ ない]
		

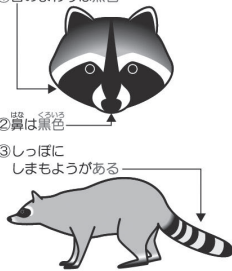
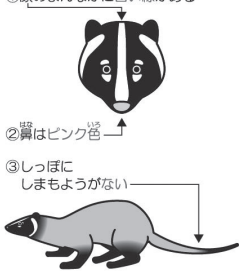
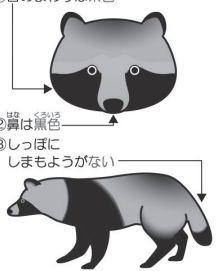
クイズ・ぬりえ用紙

アライグマは、北米大陸を原産とするアライグマ科の哺乳類です。1962年に動物園から逃げ出した個体を由来とする外来生物で、TVアニメの流行による飼育ブームの影響もあり、現在では日本全国に分布を広げています。木登りが得意で、民家の屋根裏などに侵入し汚損の原因となることがあります。また、様々なものを食べるため、在来生物や農作物に影響を与えます。さらに感染症を媒介し、特定外来生物に指定されています。

Q そもそも外来生物とは？

A 端的にいうと「日本にいなかった場所から来た生物（外来種）」といいますが、本来の生息域の外に運ばれた生物（外来種）といいますが、問題は、下記の通り多岐にわたります。

生態系への影響	・ 在来生物の減少
生産活動への影響	・ 農作物の被害
人の健康への影響	・ 人を噛む

アライグマ	ハクビシン	タヌキ
①目のまわりは黒色	①顔のまんなかになに白い線がある	①目のまわりは茶色
②鼻は黒色	②鼻はピンク色	②鼻は黒色
③しっぽにしまようがある	③しっぽにしまようがない	③しっぽにしまようがない
		
▶ 外国(北アメリカ)から日本にやってきた ▶ 森の中の池や川がすき ▶ 畑や家の近くでくらすこともある ▶ なんでも食べる(肉・魚・虫・やさい・くだものなど) ▶ 木のぼりがとくい	▶ 外国(タイワン)から日本にやってきたと考えられている ▶ 山の中から家の近くまで、いろいろな場所ですくすくしている ▶ なんでも食べる(すきな食べ物はくだもの) ▶ 木のぼりがとくい(電線の上も歩ける)	▶ 昔から日本に住んでいる ▶ 山の中から家の近くまで、いろいろな場所ですくすくしている ▶ なんでも食べる(虫・木の葉・くだもの・葉っぱなど) ▶ 木のぼりにはがて

回答・解説用紙